

平成16年10月29日  
国土交通省

## 第2回新幹線脱線対策協議会の結果概要について

1. 日時、場所 平成16年10月29日（金）16時～17時40分  
国土交通省4階特別会議室
2. 議題 鉄道構造物の耐震補強、地震・脱線に関する研究の状況 等
3. 主な議事内容：
  - (1) 北側国土交通大臣訓示
    - ① 国民の新幹線に対する信頼を確保するための協議会の責務は大きく、今回の脱線を重く受け止め、航空・鉄道事故調査委員会の報告を待たずして、当面、可能な対策から速やかに実施すべき。
    - ② 今回の地震により、耐震補強が行われていない高架橋等に被害がみられたことから、高架橋の耐震性の総点検、必要な補強の実施、補強計画の前倒しについて指示。
  - (2) 鉄道構造物の耐震補強
    - ① 今回の地震による施設の損傷状況の概要報告
    - ② 大臣から指示のあった高架橋の耐震性の総点検等の考え方等についての意見交換が行われ、各社において、具体的な計画や方法の検討に入ることとなった。
  - (3) 地震・脱線に関する研究の状況  
今後の対応策の検討に資するため、鉄道総合技術研究所から地震及び脱線に関する最近の研究の状況として、早期地震警報システムの開発や地震時の車両挙動解析について報告があり、今後のさらなる技術開発の可能性等について質疑が行われた。
  - (4) 今後の検討について  
今回、列車が脱線したにもかかわらず、死傷者の発生がなかったことから、対策を検討するためには、事故現場の状況、車両の状況を確認する必要があるとの意見が出された。日程等の具体内容については、復旧の状況等を踏まえ、今後、調整することとなった。

本件に係る連絡先  
国土交通省鉄道局  
技術企画課 今田  
03-5253-8111（内線40702）  
03-5253-8546（直通）